

世に遣わされた者として

毎年、2月11日「信教の自由を守る日」を覚えて集会を開いています。今年も4人のキリスト者からこの世に遣わされた者としてそれぞれの現場からの声を聴く時を持ちたいと思います。教育現場、被差別の現場、沖縄の現場、入管の現場からの声です。



佐藤 飛文

東京教区西支区(現・西東京教区)の高校生会・青年委員会で育ち、大学で日本アジア関係史を学び、韓国にも留学。現在はキリスト教学校の中高の社会科教員をしながら、教団日韓協約委員、NCC在日外国人の人権委員、SCF(学生キリスト教友愛会)理事、ACEF(アジアキリスト教教育基金)評議員などをつとめる。



北原 葉子

1992年から1996年まで4年間沖縄在住。(沖縄教区上地教会伝道師)、その後国際キリスト教大学大学教師時代に沖縄フィールドトリップ引率。「沖縄を思い祈る会」主催。西国分寺教会牧師。



北村 智史

日本基督教団・東京府中教会牧師。同志社大学神学部在学中の頃から日本基督教団部落解放センターが主催する青年ゼミナールに通い、差別の問題に出会う。現在、部落解放センター運営委員、東京同宗連常任委員、教団「障がい」を考える小委員会委員、NCC「障害者」と教会問題委員会書記を務めている。



宮島 牧人

2009年より東日本入国管理センターの面会支援活動を始め、2013年からは東京入国在留管理局に活動の拠点を移す。これまでに200人を超える仮放免の保証人を引き受け、現在も継続している。大学や神学校で入管問題の特別講義を行う。原町田教会牧師。

2022年2月23日(水) 14~16:00

オンラインZoom

お申込みはメールにて 東京府中教会 北村牧師まで
(2/16まで) dudfv705@yahoo.co.jp

問い合わせ

Tel:042-723-0207(宮島牧人)

日本基督教団 西東京教区社会部
東京教区共催